

## 「三方五湖自然再生フォーラム」を開催 環境保全に対する意識を向上

多様な魚類の生息地であることが評価され、平成17年にラムサール条約湿地に登録された三方五湖。この貴重な自然環境の保全に対する意識を高め、実践してもらおうと、県などが8月25日(土)と26日(日)に、「三方五湖自然再生フォーラム」を開催しました。

初日は、三方青年の家で、研究者による講演のほか、地元の小学生や全国の自然活動団体などによる事例発表、パネルディスカッションを実施。2日目には、三方五湖や中池見湿地を巡りながら、ウナギやシジミなどの料理を楽しむエクスカッションを行うなど、参加者は、身近な自然と人間の暮らしとの関わりや食文化について、関心を高めました。



## 「子どもと知事のつどい」開催 子どもたちに豊かな心や夢を

県内のひとり親家庭の子どもたちに、西川知事との触れ合いを通して豊かな心や夢を育んでもらおうと、7月24日(火)に、敦賀市立少年自然の家で「子どもと知事のつどい」が開催されました。

参加した小中学生約50名は、西川知事と杉材を使ったクラフトづくりに挑戦。また、会話や昼食を一緒に楽しむなど、充実した一日を過ごした様子でした。

今後も県では、福井の未来を担う子どもたちが健やかに育っていけるよう、応援していきます。



## 大雨の被災地を緊急支援 復興に向けた対策を推進

7月20日(金)と21日(土)に、県内各地で記録的な大雨が降り、あわら市や越前市、坂井市などで、道路冠水や家屋浸水等が発生。特に、越前市東部では、国指定伝統的工芸品である越前和紙の事業所などが、甚大な被害を受けました。

これを受け、県では、ボランティアの活動を応援するなど、応急対策を実施。また、越前和紙産地の生産設備の復旧や、被災した中小企業等の資金繰りの支援を迅速に行うための予算を専決処分しました。

さらに、局地的大雨による被害の再発防止に向けた工事を進めるための9月補正予算案を県議会に上程するなど、早期の復興に向け対策を進めています。

## 夏休みに「個別学習会」、 「理科実験応援プロジェクト」を実施 小中学生の基礎学力などを向上

「福井型18年教育」を推進する県では、今年度、「県学力向上センター」を新設。小中高一環教育の確立や、「子どもの学力・体力日本一」の充実強化を目指しています。

夏休みには、県内すべての小中学校で、児童生徒の学習のつまずきや効果的な学習方法などの相談に応じる「個別学習会」を実施しました。

また、植物採集標本づくりや水中微生物の観察など、夏休みの自由研究の進め方をアドバイスする「理科実験応援プロジェクト」も展開。子どもたちの基礎学力や学習意欲の向上につなげました。

